

群馬県のグリーンイノベーション施策について

群馬県グリーンイノベーション推進監 須田 恵理子

写真：群馬県の魅力を発信する SNS 投稿事業「ぐんま応援びと」
@hannzo_さん、「自撮り」尾瀬

沿革

2019年12月

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ」を宣言

- ・ 自然災害による死者ゼロ、**温室効果ガス排出量ゼロ、災害時の停電ゼロ、プラスチックごみゼロ、食品ロスゼロ**の5つの「ゼロ」
- ・ 5つの取組を総合的、包括的に宣言したのは**群馬県が全国初！**

2022年3月

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例の制定

- ・ 脱炭素社会の実現、気候変動適応及び循環型社会の形成に関し、基本理念、県・事業者・県民等の責務、必要な事項を定める。

2022年4月

グリーンイノベーション推進監・グリーンイノベーション推進課設置

- ・ 環境と経済の持続的な好循環を創出し、経済社会全体の変革を促すグリーンイノベーションに全庁で取り組むため、**部長級の役職である推進監と知事戦略部に担当課を設置**



「温室効果ガスゼロ宣言」自治体マップにシールを貼る
山本知事と小泉環境大臣（当時）

動き始めた特徴的な施策

- ✓ 地産地消型PPA群馬モデル
- ✓ EGシェア（EVカーシェアリング）
- ✓ 県有施設の脱炭素化
- ✓ その他の特徴的な取組



電力供給の新しい仕組み

地産地消型PPA群馬モデル

～群馬県産の水力発電由来の再エネ電力を群馬で活用～

【従来】



群馬県
(発電事業者)

群馬県産再エネ電力



小売電気事業者

電力



事業者
(需要家)

群馬県は
選定できず

【地産地消型PPA】



群馬県
(発電事業者)

供給先をプロポーザルで選定

環境活動

地域貢献

を評価

→ 協定締結



県内事業者
(需要家)

群馬の再エネ
電力を群馬で
活用

卸売り価格

15円/kWh



小売電気事業者

群馬県産再エネ電力



EGシェア（EVカーシェアリング）



A photograph of a white electric car parked at a charging station. A person's hand is holding a smartphone in the foreground, displaying a map application with the name 'Citros' at the top. The car's charging port is open, and a black charging cable is plugged into it. The background shows a blurred urban setting with buildings and trees.

EVカーシェアで

地域脱炭素

EVシェア

Digi田甲子園 本選出場中！！



近隣自治体や県民等とのEVカーシェアリング（EGシェア）

群馬県



EVカーシェアで
地域脱炭素
EGシェア

課題解決の分野	グリーン社会の形成
実施地域	群馬県前橋市、富岡市、太田市、沼田市、中之条町
取組開始年月	2023年9月

取組内容

地方公共団体部門では「グリーン社会の形成」分野で唯一の本選進出



県有施設の脱炭素化

県有施設の脱炭素化

「群馬県地球温暖化対策実行計画」を2023年12月に一部改定

事務事業編の温室効果ガス削減目標を上方修正するとともに、
取組毎に具体的に目標を設定

事務事業編の取組毎の設定目標

1. LED照明の導入

県有施設全体のうち、照明設備の原則LED化を実施した施設の割合を2030年度までに100%とする。

2. 新築建築物のZEB化

今後予定する新築事業については、原則ZEB Oriented相当以上とし、2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指す。

3. 電動車の導入

新規導入・更新については全て電動車とする。

4. 太陽光発電の設置

2030年度には設置可能な建築物（敷地を含む。）の50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。

具体的取組

1.LED照明の導入

- ✓ R6当初予算案に改修のための予算を計上（審議中）
- ✓ 2030年度に向け大規模・計画的に実施するため、工事ではなくリース方式を採用

2.新築建築物のZEB化

- ✓ 関係課のワーキンググループで「県有施設新築ZEB化指針」を策定
- ✓ 目標に掲げた「平均でZEB Ready相当」は対象建築物のBEI平均 ≤ 0.50

4. 太陽光発電設備の導入

県有施設と県有未利用地への導入を一括で進め
事業者参入のインセンティブを高める

① 県有施設の最大限活用で自家消費MAX

- ・自家消費型の太陽光発電設備を整備する
- ・初期導入費用の抑制の観点から、可能な限り電力販売契約(PPA)とする

② 県有未利用地解放で民間投資MAX

- ・民間投資を促進するため太陽光発電施設建設用地として貸付ける
- ・発電した再エネ電力は、原則、県内で地産地消するものとする(FIT売電は不可とする)

その他の特徴的な取組

- ✓ 企業との連携
- ✓ 市町村との連携
- ✓ 適応策

- ✓ **企業との連携**
- ✓ 市町村との連携
- ✓ 適応策

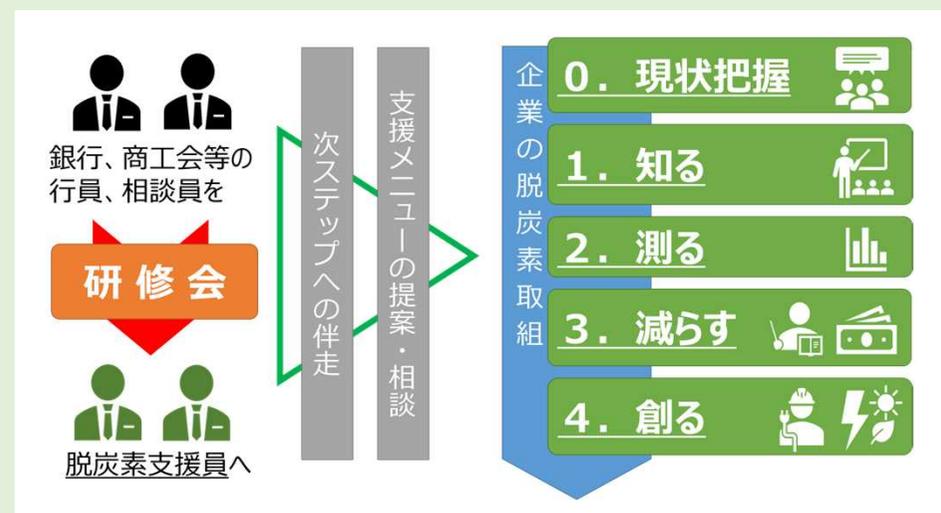
脱炭素経営支援体制の構築

- R5環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に群馬銀行・東和銀行・県の3者で共同申請し、採択
- 中小・中堅企業の脱炭素を金融機関や商工団体等が後押しできる体制を目指し、次の2点を実施
 - ① 2行による中小企業4社への支援をモデル実施
 - ② 支援機関向け脱炭素経営支援ガイドブック作成

企業の日々の
経営・事業相談にも
脱炭素を広めていきます

<来年度以降の取組>

R5の成果を他の機関へ横展開する予定



- ✓ 企業との連携
- ✓ **市町村との連携**
- ✓ 適応策

ぐんま地域脱炭素連携チームの活動

令和5年1月に県と県内全市町村で構成する「ぐんま地域脱炭素連携チーム」を結成。

成功事例や悩み・課題を共有し、課題解決に向けチームで一緒に取り組んでいく。

今年度（R5）のテーマ・主な取組

＜テーマ＞ 仲間を作る、知る、視野を広げる

＜主な取組＞

- ・ 顔の見える関係構築
- ・ 環境省のステップアップ講座を活用した機運の醸成・知識の習得・理解の
- ・ 実行計画事務事業編の策定支援



ステップアップ講座を活用した先進地視察



顔の見える関係を作るワークショップ

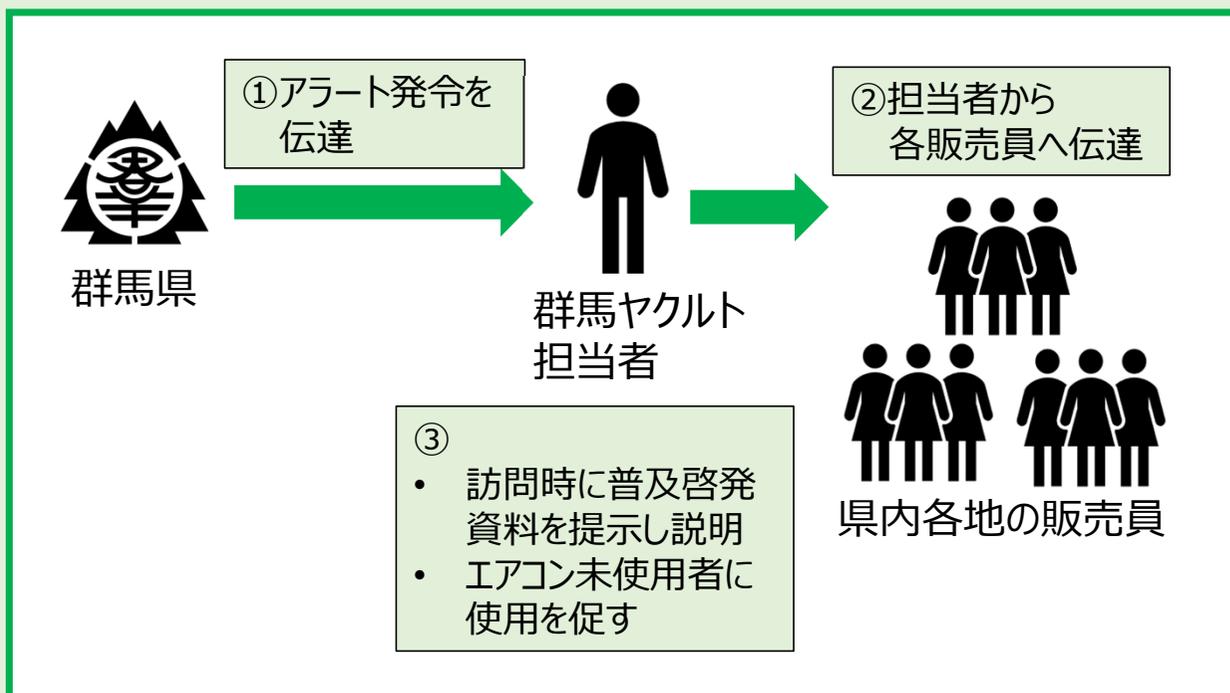
＜来年度の取組予定＞

- ・ 更なる関係強化、知識の習得、理解の深化
- ・ 課題解決に向けた取組の組成
- ・ 「脱炭素の視点を入れて地域課題解決をしたい市町村」と「新規事業を展開したい事業者」とのマッチング支援

- ✓ 企業との連携
- ✓ 市町村との連携
- ✓ **適応策**

気候変動適応策（暑熱分野）

群馬ヤクルト販売株式会社と連携し
熱中症警戒アラート発令時に
ヤクルトスタッフが訪問先の高齢者等へ注意喚起



ご清聴ありがとうございました

写真：群馬県の魅力を発信する SNS 投稿事業「ぐんま応援びと」
@hannzo_さん、「自撮り」尾瀬